



山江村議会だより

まるおか

No.65

(区の宝：第13区)



①万江阿蘇神社



②十王堂(木造厨子と木造十王像)



③西福寺跡阿弥陀堂



④西福寺跡阿弥陀堂の花まつり

写真の説明

- ①万江阿蘇神社：現在の本殿は万江村領主の万江氏により1728年建立(村指定有形文化財)
- ②十王堂：中国の唐時代に起こった十王信仰のお堂。堂内の木造(厨子、十王像)は村指定有形文化財
- ③④：西福寺跡阿弥陀堂・花まつり：もとは臨済宗、古義真言宗の寺院であったが廃寺となり阿弥陀堂のみ現存。花まつり(甘茶)は、旧暦の4月8日に実施。

目次

- 平成29年第1回山江村議会定例会報告
 - ・平成29年度当初予算 P2～P3
 - ・現地調査報告 P3
 - ・一般質問 P5～P9
- 平成29年第2回議会臨時会報告 P10
- 議員活動の1コマ P10

平成29年4月28日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)22-0105 山江村域内電話 ☎23-3401

一般会計当初予算 31億6千万円を全会一致で可決！

(山江村債権管理条例ほか1件を継続審査へ)

平成29年第1回3月議会定例会は、8日～17日までの10日間の会期で開催されました。今回提案された議案の主なものは、委員会発委1件、承認1件、条例制定及び改正の計10件、平成28年度一般・特別会計の補正予算5件、平成29年度一般会計、特別会計の当初予算7件などを審議しました。また、平成29年度一般会計当初予算は昨年度よりも2億17百万円減額の31億6千万円となった。

8日に開会后、平成28年度一般、特別会計補正予算5件を含む7件を先議可決。10日は、村内11か所の現地調査、13日～15日までは条例・予算等の議案審議を行い、16日は一般質問で6議員が登壇し執行部を質しました。

最終日の17日に、産業厚生常任委員会発委による国への意見書提出、条例の制定・一部改正、平成29年度当初予算について質疑・討論・表決を行い、条例制定（2件：閉会中の継続審査へ）を除く、全議案を原案どおり可決決定しました。

平成29年度 一般会計当初予算

■歳入

【単位：千円】

区分	本年度予算額	前年度予算額	比較	説明（主な内容）
村税	202,737	198,543	4,194	村民税、固定資産税、軽自動車税ほか
地方譲与税	38,114	29,981	8,133	地方揮発油譲与税、自動車重量譲与税、
利子割交付金	150	235	△85	利子支払時の税の一部交付金
配当割交付金	295	450	△155	上場株式配当時の税の一部交付金
株式等譲渡所得割交付金	10	10	0	株式譲渡時の税の一部交付金
自動車取得税交付金	5,752	2,440	3,312	道路の延長と面積により交付金
地方特例交付金	619	300	319	減収による補填分の交付金
地方交付税	1,504,000	1,548,000	△44,000	行政機関の均質的な水準確保のための交付金
交通安全対策特別交付金	307	678	△371	交通事故発生件数、人口による交付金
地方消費税交付金	52,290	35,000	17,290	人口、従事者数による交付金
分担金及び負担金	14,663	27,072	△12,409	民生費負担金（保育料、老人福祉施設等）ほか
使用料及び手数料	47,437	45,556	1,881	住宅使用料、ほたるの荘他施設使用料ほか
国庫支出金	409,125	406,319	2,806	各種事業における国からの負担金、補助金ほか
県支出金	192,275	187,335	4,940	各種事業における県からの補助金、委託金ほか
財産収入	39,164	9,538	29,626	土地建物売却収入、太陽光発電借地料、基金積立利子ほか
寄附金	15,600	10,000	5,600	山江村ふるさと応援寄附金
繰入金	163,642	148,000	15,642	財政調整基金・山江村定住促進基金
繰越金	104,500	82,960	21,540	前年度繰越金
諸収入	32,720	12,683	20,037	後期高齢者広域連合受託事業収入ほか
村債	336,600	631,900	△295,300	宅地分譲地整備事業、公営住宅建設事業、山江村体育館改修事業、教育ICT環境整備ほか
歳入合計	3,160,000	3,377,000	△217,000	

■歳出

【単位：千円】

区分	本年度予算額	前年度予算額	比較	説明（主な内容）
議会費	60,261	60,780	△519	議員報酬、議会運営費他
総務費	552,002	518,936	33,066	移住定住推進費、地域づくり研究所運営費ほか
民生費	651,370	681,365	△29,995	障がい者福祉費、老人福祉費、児童福祉費ほか
衛生費	388,875	390,409	△1,534	保健衛生費、子育て支援費、健康増進事業費ほか
農林水産業費	292,192	284,899	7,293	多面的機能支払事業費、果樹振興費、林業振興費ほか
商工費	50,577	43,351	7,226	観光費、丸岡公園整備費、企業誘致対策費ほか
土木費	421,558	347,812	73,746	社会資本整備費、道路新設改良費、住宅建設費ほか
消防費	104,885	469,240	△364,355	非常備消防費、防災行政無線維持管理費ほか
教育費	270,206	216,163	54,043	学校管理費、体育館管理費、人権教育推進費ほか
災害復旧費	4,500	7,705	△3,205	道路河川災害復旧費、林業施設災害復旧費ほか
公債費	345,096	336,469	8,627	起債の償還
予備費	18,478	19,871	△1,393	予備費
歳出合計	3,160,000	3,377,000	△217,000	

平成29年度 特別会計当初予算

歳出

【単位：千円】

会 計	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	本年度予算額の財源内訳			
				特 定 財 源			一 般 財 源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	
国民健康保険事業	604,000	581,000	23,000	198,711	0	268,117	137,172
簡易水道事業	188,000	174,000	14,000	11,152	16,700	49,353	110,795
農業集落排水事業	138,000	147,000	△9,000	0	0	36,344	101,656
介護保険事業	445,000	444,000	1,000	182,985	0	118,607	143,408
後期高齢者医療事業	34,000	32,000	2,000	0	0	243	33,757
ケーブルテレビ事業	68,000	44,000	24,000	0	0	24,536	43,464

公共工事現場等を調査！ (平成28年度完了、平成29年度予定事業)

3月議会定例会3日目の10日（金）は、午前9時から平成28年9月議会定例会現地調査以降の平成28年度事業の西川内地区公営住宅新築工事をはじめ椎谷地区配水管布設工事など6事業か所、平成29年度新規予定事業の山江中学校外壁塗装工事をはじめ、県営事業や民間施設建設事業（メガソーラー）など5事業か所、合わせて11事業か所を巡回し、施工の状況や予定事業の計画について、事業担当課からの説明を受けるなど現地調査を行った。



山江中学校校舎外壁塗装工事（H29年度予定）



村道県道下段線橋梁架換工事（下ノ段地区）



防災行政無線デジタル化工事（役場防災無線室）



空き家改修工事（淡島地区）

こんなことが決まりました

条例の制定

○山江村移住定住促進施設「淡島ゲストハウス」の設置及び管理に関する条例の制定

淡島地区の空き家を活用し、改修整備を行った住宅の管理運営等に係る条例

〈使用者の条件〉

- ・将来的に本村へ移住を希望している者
- ・使用期間中、円滑かつ積極的に周辺の住民との交流ができる者
- ・旅行に伴う宿泊利用でない者など

〈使用期間〉

- ・原則として1ヶ月以内

条例の一部改正

○山江村専門委員の設置に関する条例等を廃止する条例の制定

○山江村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

○山江村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定

○山江村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定

○山江村個人情報保護条例及び山江村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定

閉会中の継続審査(常任委員会へ付託)

○山江村債権管理条例の制定

○山江村営住宅条例及び山江村特定公共賃貸住宅管理条例の一部を改正する条例の制定

(内容) 債権に関する統一的な処理基準を定めるところにより、公正かつ公平な村民負担の確保及び村の債権管理の一層の適正化を図り、もって健全な行財政運営を資することを目的とするもの

国会等へ提出する意見書(委員会発委)

○地域の実情に応じた医療提供体制の確保を求める意見書

政府が発表した2025年の必要病床数の推計は、現在の病床数と比べ15万～19万病床少なく、大幅な削減が求められている。国が一方的に病床削減を強いることは、地域の医療ニーズに十分応じることができなくなるおそれと、医療従事者の雇用機会の喪失につながる可能性があることから、地域の実情に応じた内容にすることを、国に対し意見書を直接提出し要望するもの。

村道路線の廃止・認定

○山刀失村界線(廃止)

起 点：山田字円蔵2128-1

終 点：山田字谷ノ口2554-8

延 長：L = 1922.0m

敷地幅員：4.6m～33.0m

○山刀失村界線(認定)

起 点：山田字円蔵2124-1

終 点：山田字谷ノ口2554-8

延 長：L = 1955.0m

敷地幅員：4.6m～20.9m



6名が登壇！村執行部に問う

(一般質問)

質問順	議員氏名	質問事項	ページ
1	中竹 耕一郎	○地方創生事業の進捗について	5~6ページ
2	森田 俊介	○貴重な文化財の保護と整備について ○山江温泉ほたると物産館の今後の状況について ○村長の政治姿勢について	6ページ
3	立道 徹	○国民健康保険の広域化について ○株やまえについて ○業務委託について	6~7ページ
4	松本 佳久	○施政方針について ・万江川上流の水利権について ・山江村の農業施策について ・山江村まち・ひと・しごと創生総合戦略について	7ページ
5	赤坂 修	○ふるさと納税について ○山江村消防団の現状について	8ページ
6	横谷 巡	○買い物弱者・交通弱者の生活交通確保対策について ○人口減少定住促進施策について ○有地貸付メガソーラーについて ○教育行政について	9ページ

※議会だよりは、文字数が限られているため、一般質問内容のすべてを掲載していません。
また、各議員より提出された原稿のまま掲載しております。



中竹 耕一郎 議員

地方創生事業の進捗は

質問 具体的な計画に基き事業遂行されているが、既に進んでいるもの、又は様々な課題に突き当たっているものがある。現在の進捗は。

答弁 地方創生はもともと、まち、人、仕事創生と言われている。経済を活性化させながら仕事をつくる。そして人を残す。そして村づくりを進める。総合戦略については四つの基本目標と62項目の施策を掲げて事業実施に当たっている。村の活力に繋がる雇用づくり、移住定住の促進、子育ての様々な支援、環境づくりそして安心な暮らしの実現等精力的に取り組んでいる。国の支援がなくとも自立していける基礎をつくる必要がある。

質問 情報化戦略のねらい、その特徴について。

答弁 農業、防災環境、福祉、人材育成を重要分野とし、年度ごとに目標を設定して進捗管理をしている。

質問 比較的先駆けて進んでいるICTを活用して外部にも呼びかけ人材養成の拠点づくりはできないか。

答弁 平成29年度に研究所セミナー、講座など計画している。

質問 ICTが団塊の世代にも必要となるが、シニアネットクラブ等を立ち上げる計画は。村内地区にICT支援員の設置計画は。

答弁 地域づくり研究所を軸として進める。支援員の設置計画はある。

質問 地方創生に活用する文化遺産の保存のため文化財基金の創設は。ふるさと納税を基金活用の原資とする方法は。

答弁 再調査をし、補助金交付要綱など検討している。基金についても検討していく。

質問 来村者への対策として文化財を含め村内の各種サイン計画は。

答弁 後世に伝えていく観点から説明案内板設置は急務である。

質問 定住化促進策として、奨学金の返済期限猶予、軽減策等の優遇措置は。

答弁 運営上、財源の確保が課題である。今後見直しも検討する。

質問 定住予定者の家屋建築、移住者の固定資産税軽減策は。

答弁 上位法もあり課題がある。法に基づく軽減特例措置について説明し活用していく。

質問 地方創生に係る職員、人材の育成について。

答弁 内部研修、外部研修含めて能力、技能の向上に務める。

提言 本気度が問われる地方創生事業である。もっと他に良い方法はないか常に考え、焦らず慌てないで住んで心地よい故郷づくりに邁進して欲しい。



森田 俊介 議員

貴重な文化財の保護と整備はいかに

質問 本村は、国・県・村の指定文化財と数多くの文化財が存在し丸岡公園西側に標高506mのところ、照岳という山があり人吉が一望でき

て人吉市、球磨村、山江村の行政境界線だが行き来できない状況と未指定で文化財も荒れ放題で消滅危機であるが。

答弁 道そのものが荒廃している状況で関係市町村と協議や協力など一体的な取組みが必要になり整備について検討したい。

殿様道フットパスコースであります。殿様道について調べられたいと思っております。まずは、教育委員会の殿様道の調査結果を待たせていただきたい。

山江温泉と物産館の経営状況は

質問 山江温泉の経営状況は。

答弁 1月までの状況は約700万円強の黒字を見ている。

質問 賞与はあるのか。

答弁 取締役会で協議したい。

質問 温泉の掘り返し計画はあるのか。

答弁 地方創生の補助金を取ることができるか、国県と検討しており積極的にその予算を取りに行きたい。

質問 平成29年の米、栗の買い付け目標は。

答弁 米は昨年比の105%で5%増、栗は110%で10%増を見込

んでおり、栗は約18トン程度が必要であろうと報告があった。

質問 米倉庫の貯蔵の機能は十分発揮できているのか。

答弁 除湿器の設置に取り掛かっている。

質問 物産館の冷蔵庫に山江の栗まじゅうと良く似た商品があるが。

答弁 トラブル等があったら出荷協議会の方で対処される。物産館は一切責任を取っていない。また、出荷者本人に責任をとっていただく。

質問 山江温泉のロゴマークの話は聞いたが。

答弁 山江村の栗商品のブランドマ



立道 徹 議員

国民健康保険の広域化とは

質問 現在の国保運営状況は。

答弁 国保加入状況では、平成27年

ークを開発中である。

事務の改善と副村長の設置は

質問 事務的な仕事の遅れから長い時間待たせ、村民の方がどの課に行っているのか分からない。受付案内人を置くなど各課に専門職の配備はできないものか。

答弁 改善を図っていきたい。

質問 副村長を置く考えは。

答弁 副村長の設置も積極的に考えていきたい。

度で556世帯、980人。平成28年度2月末で538世帯、910人と減少傾向にある。全国においても同様である。働く世代が社会保険に加入し、国保は、低所得者・高齢者層の割合が大きくなっている状況である。

医療費では、平成26年度の一人当たりの療養給付費は、34万9378円、27年度では35万729円で県内でも高い水準となっており、国保事業会計決算状況は、平成26年度約5億1700万円、27年度で5億6800万円、28年度は予算ベースで6億1000万円となっており、

一般質問

年々歳出規模が膨らんでいる。

国保財政調整基金の状況は、24年度に5000万円を新規積み立てをし、27年度に3000万円を取り崩し、28年度は、1500万円を取り崩し、29年度は残りの500万円の基金を充てることになっており、基金もなくなる。このような状況なので国保財政運営はたいへん厳しい。

質問 30年度から県単位化へ移行となるが、現在の国保の収納率と滞納世帯数、短期被保険者証の発行数、また、差し押さえ件数は。

答弁 29年2月末現在で、現年度分が86・8%、滞納繰越分が11・8%、全体で67・5%。滞納者数は、現年度分が89名、滞納繰越分が72名、実人数が97名。短期保険証の発行は、78件ほどで、本年度の差し押さえは1件の実績である。

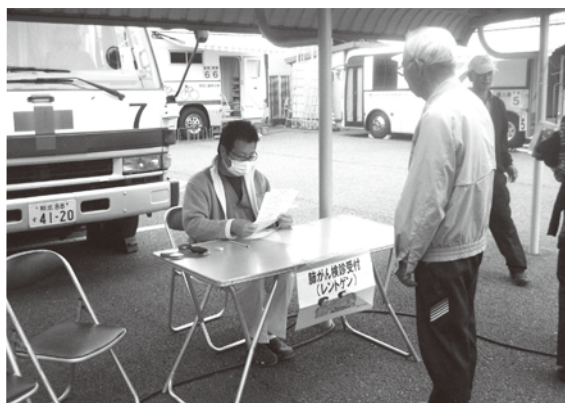
質問 国保税を引き下げる考えはないか。

答弁 市町村ごとに標準保険料を算定し市町村が決定していく。給付費の高い市町村には高い納付金を納めることになり、現状と変わらない状況である。保険税を下げるにはいかに給付費を下げるかにかかっている。そのためには、特定検診率の向上・特定保健指導の推進、がん検診の充実など医療費の適正化に向け、保健師や栄養士を中心に保険事業に

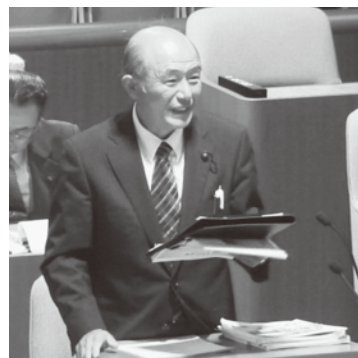
積極的に取り組み、村民の皆様も定期的な検診を受診して、早期発見・早期治療・重症化予防に心がけて頂きたい。

質問 広域化によって、国保税が下がるという印象ですが、上がる懸念はあるのか。

答弁 当面の間は各市町村の給付費に応じた標準保険料率を示して市町村が決定していくのですが、下がるという事は無い。ただ、受診率を上げるまた、予防・健康づくりの取り組みができていくかそのような実績によって、予算は増えていく仕組みになっていく。そのためには、保健師の指導・取り組みが重要である。



医療費の適正化に向けた住民検診



松本 佳久 議員

「ともに築こう、暮らしやすい山江村!!」

質問 昭和20年代から柳チッソが持っている万江川上流の水利権（約1000ha）を取り戻す考えはないか。

答弁 歴代の村長も議会も住民も、万江川の水の大切さは十分に理解しています。チッソが持つ水利権の使用期限は平成39年3月31日までなので、引き続き皆さんと一緒に頑張って、引き続き皆さんと一緒に考えて返還に向けて取り組みたいと考えています。河川法第36条では、国土交通大臣は水利の使用に関しては、関係市町村長の意見を聞かなければならないとなっております。地域、議会の考え方が良く伝わるように準備していく必要があると考えています。

質問 水田地帯の中山間地域等直接

支払交付金事業は、人吉球磨地方では錦町と山江村だけが取り組んでいない。今後取り組み考えはないか？

答弁 山江村の水田地帯の大部分は中山間地域直接支払交付金事業に該当していると思われ。本年度から傾斜度の測量をして順次取り組みたいと考えていますが、運営主体は地域の農家という制度なので参加に向けて農家の皆さん方の協力をお願いしたい。

質問 山江村地方創生総合戦略は村民への周知不足の面があるのではないかと。どのように村民へ上手に伝えていくのか。

答弁 村内への情報発信はとても大切です。広報誌や回覧チラシ、ケーブルテレビ、防災行政無線、各課のチラシ等々を利用して各種の行政情報、地方創生総合戦略を上手に伝える努力をしていく。

提言 山江中学校卒業式で中里校長先生は「変革の時代に活躍するのは、いつの時代も若者である」と述べられました。私たちも共に力を合わせて次代を担う子ども達、山江村のことを好きになり世界にも目を向ける子ども達が多く育つよう、なお一層力を注ぎましょう。



赤坂 修 議員

ふるさと納税の積極的な推進を!!

質問 ふるさと応援寄附金の実績とふるさと応援寄附金を活用した事業は。

答弁 平成27年度実績は62件で867千円、28年度は1月末現在839件で1083万円である。ふるさと応援寄附金を活用した事業は、歴史民俗資料館図書館移転の工事に伴う絵本等の購入とし100万円を活用した。

質問 寄附をした方への返礼品の状況は。

答弁 栗の加工品、米などを中心に18品の中から贈呈している。

質問 ふるさと応援寄附金を更に進めていくためにはどのような方策を考えているのか。

答弁 返礼品の数を増やすことも重

要と考えている。山江温泉の宿泊券、グリーンツーリズムの体験や農泊の推進、山江村の農産物を使った商品など、魅力のある返礼品を考えていきたい。

提言 自主財源の確保としてふるさと応援寄附金は重要な財源であるとともに、ふるさと応援寄附金の使い道として、①特産品の開発及び地域産業の推進②高齢者の生活支援及び地域づくり③自然環境保全及び地域景観の創造④青少年の健全育成及び教育環境の整備⑤伝統芸能並びに文化の伝承及び創造など、各課に関係した事業であるので全庁挙げての推進を期待したい。

山江村消防団の再編成は

質問 山江村消防団の定員と機能別消防団員数は。

答弁 定員200名に対し現在203名中機能別消防団員は39名となっている。

質問 機能別消防団員には訓練等に参加を呼び掛けていないということであるが、災害出動時の事故等を未然に防ぐ観点からも、また、ポンプ、その他の装備も新しくなっているので、機械器具の取扱講習や各分

団とのコミュニケーションを取る為にも年に1回の全体訓練も必要ではないのか。

答弁 経験豊富な技能や知識を持っている消防団退団者を任用しているが、今後、できるだけ自主防災組織の防災訓練や消防団の訓練について案内していきたい。

質問 団員数で二分団の35名から、8分団の5名、各分団編成戸数2分団の305戸から8分団の23戸と高齢化過疎化等で格差が広がる中で、消防団の再編成の考えは。

答弁 非常に難しい問題であるが未来永劫ともこのままでいいとは思っていないので、団長にも今日出た質問について、しっかりお伝えし対処していきたい。



全団員出動の消防出初式



ちょっと待った!

政治家の寄附は禁止

議員は祭りのときなどにお金を寄附したり、お酒などを届けることを禁止されています。

有権者からの寄附要求も禁止

また、有権者が求めてもいけません。ご理解をお願いします。

議会を傍聴してみませんか。

村民の皆様には、議会傍聴(議場)にぜひ参加いただき、ご意見等をお聞かせ下さい。次回の議会定例会は6月開催です。日程等の問い合わせは、議会事務局までお願いします。TEL:23-3401

一般質問



横谷 巡 議員

高齢者等の対策と支援策は

質問 高齢者等を中心に、買い物・交通弱者が年々増加傾向にあるが、その対策と支援策の考えについて伺う。

答弁 現在、宅配サービスや移動販売についてアンケート調査を実施している。その結果をもとに買い物支援の施策を検討していく。また、まゐるおか号を移動困難者対策として、できるだけ利用しやすい形に今後持っていく。

人口減少定住

促進施策の進捗は

質問 ベットタウンとして本村は適地であるが、中・長期の総合的施策

で農振地域の見直しと除外を村の重点施策として取り組み、分譲地造成を進める考えはないか。

答弁 農振地域の見直しは5年に1回であり、平成29年度が見直しの年になる。定住促進の施策として分譲地造成施策は重要であり、事業が計画されている箇所については、除外地として許可されるよう県と協議していきたい。

質問 村民の声として、西川内の村営住宅建設の遅れについて、軟弱な地盤のせいではないかなどの風評があるが、地盤の状況と入札が遅れた本当の原因と経緯について説明を願いたい。

答弁 地盤強度の支持度を満たしていない箇所が8箇所あったので、その対策工事として土の入れ替えを行った。入札が遅れた原因と経緯は、1戸当たりの標準建設費が国の基準を大きく上回り見直しが必要となったことと、発注者と受注者との協議や打合わせ事項が不十分だったからである。

質問 28年度の重点施策である住宅建設事業が、予算不足、打合わせ不足などにより計画戸数の減と入札に遅れを生じ、繰越事業になることは重きに値する。この一連の顛末の責任について、村長はどのように考えるか。

答弁 決裁権は私にあるので責任があることは認識している。職員にも今回のことはよき戒めということできしつかりと指導していきたい。

村有地貸付の

メガソーラー対策は

質問 合戦の峰の村有地貸付メガソーラー設置による造成傾斜地から、梅雨時に下方の住宅団地、民家への土砂流出の恐れと農地・河川への影響はないのか。

答弁 現在、安定していない法面などから降雨時に土砂が流れ、付近の住宅地や河川へ影響が生じている。土砂流出などの災害が発生しないよう業者に対策を指示している。

質問 災害発生時の緊急マニュアルと責任の所在はどうなっているか。

答弁 降雨時の見回りや監視カメラの設置など体制の強化に努める。責任については会社が一切の賠償責任を負うという協定書を結んでいる。

教育行政と英語教育の課題は

質問 人物優秀で学力が高く、進学したいという強い意欲があつて、経

済的事情で断念せざるを得ない子供の進学を支援するための返済不要の給付型奨学金制度を創設する考えはないか。

答弁 現時点では今後の検討課題と考える。

質問 英語教育が2020年度から実施されるが、準備等の課題と英語教育を山江村の教育の特徴にするにはできないか。

答弁 増える授業時間の確保と教育課程をどうするのかの検討、英語授業を行う教師の英語力向上の取り組み、ALTの活用を含めたグローバル人材の育成などが課題として考えられる。また、ICT教育先進地として英語教育にICTの効果的な活用を図っていきたい。



ALT(外国語指導助手)による小学校英語授業

平成29年第2回議会臨時会報告

「地方創生拠点整備事業等の繰越明許費補正予算を可決！」

平成29年第2回山江村議会臨時会が3月30日招集され、平成28年度山江村一般会計補正予算（第7号）及び山江村特別会計ケーブルテレビ事業補正予算（第4号）を審議し、原案どおり可決決定しました。

今回の補正予算の主なものは、一般会計においては、地方交付税（特別交付税）の確定などにより、補正前の額に歳入歳出それぞれ24,772千円を減額し、総額を36億71,393千円としたもの。

また、繰越明許費として、8事業2億18,183千円を平成29年度へ繰越すための予算措置と特別会計ケーブルテレビ事業補正予算では、主に西川内地区公営住宅ケーブルテレビ引き込み工事を平成29年度へ繰越すための予算措置を合わせて決定した。

歳 出		一般会計補正予算（第7号）			【単位：千円】
区 分	補正前額	補正額	合 計	説 明	
議 会 費	6,564	△100	60,464	普通旅費の減	
総 務 費	674,065	△1,649	672,416	公共施設等総合管理計画策定業務委託料他の減	
衛 生 費	396,677	2	369,679	国県支出金返還金の増	
農 林 水 産 業 費	279,554	△5,920	237,634	新規作物導入支援事業、有害鳥獣駆除補助他の減	
土 木 費	422,604	△4,867	417,737	村道新設改良工事、村営住宅建築工事他の減	
消 防 費	469,883	△77,438	392,445	デジタル防災行政無線設備工事他の減	
教 育 費	216,609	△1,585	215,024	学校給食食材購入助成金、就学援助費他の減	
災 害 復 旧 費	9,105	△310	8,795	林道施設災害復旧工事費の減	
公 債 費	336,469	△2,935	333,534	臨時財政対策債、緊急防災、減債事業債他の減	
予 備 費	104,563	70,030	174,593	予備費の増	
歳 出 合 計	3,696,165	△24,772	3,671,393		

「議員活動の1コマ」



平成29年2月21日、議会常任委員会では、宮崎県三股町、高原町へ合同視察研修を行った。研修内容は、ふるさと納税や農林業振興、6次産業化や移住定住施策についてであったが両町とも先進的な事業の取り組みが行われており、山江村においても研修の成果を生かしていきたい。



保健医療事業の説明(高原町役場：清永保健師)



まち・ひと・しごと情報交流センター(三股町)

だんだんなあ

今年の桜は、例年より開花が遅れ、ちょうど入学式の頃に満開となりました。きれいな桜の下で新しいスタートを切られた方も多いのではないのでしょうか。

3月定例会は、平成29年度当初予算を審議する大切な定例会でありました。新年度予算も原案通り可決され、予算執行が始まります。

議会としても、効率的で、安心安全な村づくり、村民福祉の向上等に予算が執行されるよう、しっかりとチェックして行くと共に、私たち議員も、皆様に分かりやすく親しみやすい議会をめざして参りますので、ぜひ、傍聴に来ていただきますことを期待し、この議会だよりが多くの皆様に見て頂けるよう努めてまいりますので、本年度もよろしくお願いたします。

(文責 赤坂 修)

【議会広報委員】 委員長／立道 徹 副委員長／森田 俊介 委員／西 孝恒・赤坂 修